

地域福祉活動計画策定ニュース

福智町では平成19年4月に「人権と福祉の町づくり総合計画」を策定しました。その計画を具体的に進めるために福智町社会福祉協議会が中心となって、現在住民や関係機関・団体と協働して「福智町地域福祉活動計画」を策定しています。

これまでの地域福祉活動計画策定の経過

- 平成20年7月
地域福祉活動計画策定委員会発足
 - 平成20年11月
住民アンケート調査の実施
 - 平成21年2月
住民座談会に向けての研修会
 - 平成21年3月～7月
地区住民座談会の実施(64地区)
 - 平成21年9月～12月
関係機関団体ヒアリングの実施(20団体)
 - 平成22年4月
中津市社協視察
 - 平成22年6月
地区作業部会ワークショップ研修会
 - 平成22年7月～9月
地区作業部会の開催(9地区)
 - 平成22年11月
地区作業部会まとめ報告会
住民中間報告会
- | | |
|-------|-----|
| 策定委員会 | 18回 |
| 事務局会議 | 35回 |
| 住民会議 | 3回 |

住民主体 人権尊重 公民協働 がきらめくステージへ (福智町)

福智町地域福祉活動計画 基本理念

私たちの福智町は、平成18年3月に旧3町(赤池町、金田町、方城町)が合併し新政「福智町」として歩み始めています。その歩みの先にあるものは、「人権が保障され、お互いが助け合い、安心して暮らせる地域」であることです。そのために、住民をはじめあらゆる機関や団体が連携し、福祉に対する意識を高め、完全参加と平等を基底に、希望に満ちた生活を安心して送ることのできる町を目指します。そしてその機運を高めるための取り組みがこの計画の下で行われ、すべての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として「ともに支えあう町づくり」として捉え、その基本となる考え方として「あなたは一人ではない。あなたを一人にしない。私は一人ではない。私は一人では生きられない。～支えられつつ支える側にも～」とし、スローガンに「主(住民主体)人(人権尊重)公(公民協働)がきらめくステージ(福智町)へ」を掲げることとします。

福智町地域福祉活動計画 基本目標

- 1 人権と福祉意識を携えた人づくり
- 2 地域における新たな支えあいのネットワークづくり
- 3 相談・情報提供を総合的に支援する仕組みづくり
- 4 生活ニーズに対応した福祉環境づくり